



災害インバケット

件名：けが人の発生と搬送について
 組み立て工場の設備の倒壊で、たった今、
 重傷を負った従業員が6名いることが分かりました。
 救急車を呼ぼうとしているのですが、
 電話がつながりません。そこで、我々だけで、
 工場の自動車で病院に運ぼうと思います。
 班長の一人を同行させます。

大丈夫そうなので
 今から工場に戻ります

早く助けに
 来てください！

他の拠点と
 連絡が取れません！

重傷を負った
 従業員が…！



災害時における初期対応について考えてみませんか？



3. 11から早くも8年。 災害への備えは十分ですか？



今後30年間で南海トラフ地震が発生する確率は70～80%（※1）

8年前の3月11日。あの日、東北地方で未曾有の大地震が起きました。
 いかに仕事ができると評価を受けている人でも、有事の際に本社や上司に頼らずに自信をもって判断
 できるという人は多くありません。特に、瞬時の判断や情報の選別、先を見据えた計画立案への備えは
 有事が起きてみなければわからないというのも事実です。

そこで、有事の際に少しでも適確な判断ができるようにと、新たにシミュレーション教材を開発しま
 した。この教材では「南海トラフ地震」を模擬体験し、情報が錯綜し大きなストレスの下、適確な判断
 ができるかを測定し、振り返ることが可能です。また、災害の専門家である東北大学の丸谷教授からの
 学術指導（※2）を受け、防災に関する考え方も確認することができます。

「自分だけは大丈夫だろう」と思っている方やリーダーの方々
 には必須で受けていただき、命を守る行動をとっていただきたい
 と思っています。導入をご検討の方は、当社までご遠慮なくお問
 い合わせください。



※1 南海トラフ地震 <https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nteq/>

※2 学術指導 <http://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/gakujutsu/>



時間に追われる生活からの脱却

有事だけではなく、日頃の考え方（思考法）でも判断はトレーニングすることが可能です。例えば、「残業時間は減ったけれど、休日出勤の回数は増えた」という方はいらっしゃいませんか？それは「タイムマネジメント（時間管理のスキル）」が発揮されていないために起きるのです。

「タイムマネジメント」とは、限られた時間の中で安定的に成果を出す時間管理の方法です。そのヒントは、優先順位のつけ方と周囲との関わり方にあります。

フォローアップ研修にもおすすめのコンテンツです。

▼『タイムマネジメント研修』概要

2019年3月20日（水）10：00～17：00

【東京】江東区青海2-4-32 タイム24ビル 17階

参加費：30,000円（税抜）／人

詳細はこちら



会議

XXさんTEL

資料作成

メール返信

災害に備えるBCPとは

災害に備えるには2つの観点が必要です。

（1）命を守る （2）組織を守る

ここでは、「組織を守る」お話をします。

災害や事故、感染症などが発生した際に、少なからず企業／組織の活動は停滞します。ただし、いつまでも停滞しているわけにはられませんので、活動を再開する必要があります。通常の運用ができないことを想定し、優先して再開すべき活動を洗い出す、代替手段を持っておくなど、事前に計画をしておくことでスムーズに活動が再開できます。この計画のことを事業継続計画（Business Continuity Plan：略してBCP）と言います。

あなたの組織に、“備え”はありますか？



まならぼ



2019年3月16日（土）@東京

14:00～17:00（3,500円／人）

インバスケットを用いたカジュアルな勉強会です。参加者の皆さんは、仲間と共に自己研鑽に励む方々です。

まならぼ インバスケット

検索

なお、午前中には、認定トレーナー向けの勉強会がございます（無料）！

SNSも更新中！
フォロー&いいね
宜しくお願いします！



INBAS
インバスケット研究所



@inbasket_Lab



@inbasket

発行元：株式会社インバスケット研究所

カスタマーサポートグループ

メール：houjin@inbasket.co.jp



データ版はこちらから